

【問い合わせ先】

第十管区海上保安本部 海洋情報部

監理課長 木之瀬 樹

Tel. 099-250-9800 (内線 2510)



平成 29 年 6 月 27 日
第十管区海上保安本部

「離岸流」に注意！
～マリンレジャーを安全に楽しむために～

海では、時間や場所によって岸から沖に向かう強い流れである「離岸流（りがんりゅう）」が発生することがあります。これからのマリンレジャーシーズンを前に、離岸流について正しい知識を学び、マリンレジャーを安全に楽しみましょう！

1. 離岸流とは？

海岸に打ち寄せる波浪などによって生じる海岸から沖に向かう強い流れです。海岸から沖へ数十メートルから数百メートルに及ぶことがあります。幅は 10～30 メートル程度とあまり広くないのが特徴です。

2. 沖に流されていることに気が付いたときの対処

- ① あわてない。大声で近くの人に助けを求める。
- ② 海岸と平行に泳ぎ、離岸流から抜ける。
- ③ 離岸流から抜けたあと、海岸に向かって泳ぐ。



※離岸流の速さは、オリンピックの水泳選手でもかなわないほど速い流れになることもあります。そのため、岸に向かって離岸流に逆らって泳いでしまうと、体力が消耗して海岸に戻れなくなることもあります。

3. 離岸流による事故の発生状況

熊本県・宮崎県・鹿児島県で過去5年間（平成24年～平成28年）に、離岸流が原因で生じた事故は45件あり、マリンレジャーが盛んになる夏によく発生しています。事故の発生場所は次のページのようになっています。

離岸流が原因による事故者数（平成24年～28年）

	5月	6月	7月	8月	9月	合計
平成24年	0	0	1	9	2	12
平成25年	0	5	2	1	5	13
平成26年	0	0	0	2	1	3
平成27年	2	1	2	2	1	8
平成28年	1	0	0	8	0	9
合計	3	6	5	22	9	45

4. 離岸流による事故の発生を防ぐために

離岸流の研究を行っている鹿児島大学の西隆一郎教授によると「離岸流は、気象条件や海底の地形が原因で生じるものです。海に入る前に、海の表面や海岸線の様子を確認し、離岸流のサイン（注）を見つけましょう。普段いかない海岸に行く際には、地元の方に情報を尋ねましょう」とのことです。

（注）離岸流のサイン（画像は西教授提供）



5. もっと詳しく学ぶ（離岸流に関する詳しい情報）

離岸流についてのより詳しい情報は、下記のホームページに掲載されています。また、西教授のホームページへのリンクやドローンを使った離岸流調査などの関連動画もあります。離岸流について、正しい知識を身につけ、事故のないようマリンレジャーを楽しみましょう。



参考：過去5年間（平成24～28年）における離岸流による事故の発生場所

